

地域医療連携室だより

～ 第 21 号 ～

大阪市立十三市民病院

地域医療連携室 室長 挨拶

初めまして、4月に大阪市立総合医療センターから十三市民病院の地域医療連携室長として着任しました鮫島百代と申します。

これまで大阪市立桃山病院、総合医療センター、住吉市民病院、再び総合医療センターで勤務してまいりました。どうぞよろしくお願いいたします。

2020年は東京オリンピックの開催年として日本全国で開催に向けたイベントが予定され、心待ちにしておりましたが、新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大した結果、残念ながら来年に延期となりました。



地域医療連携室長 鮫島 百代

全国各地で新型コロナウイルスが拡大する中、大阪においては感染症指定医療機関で対応することが困難な状況となり、4月14日に大阪市長から当院を「コロナ専門病院」とし中等症患者を受け入れることが公表されました。以降、一般診療を休止し、早期に「コロナ専門病院」に移行するため、約150名の入院中の患者の転院、退院調整を行うとともに、通院患者の近隣医療機関への紹介を地域医療連携室が中心となり、4月末までの短期間に対応してまいりました。この場をお借りしまして、近隣医療機関の皆様のご協力に感謝申し上げます。

当院は3月下旬より新型コロナウイルス感染症患者を受け入れておりましたが、5月1日に新型コロナウイルス重点医療機関に設定され、「コロナ専門病院」としてスタートしました。その後、非常事態宣言の効果もあり、感染者も減少傾向になり、近隣の受入協力病院も医療機能を再開するため、一般病床に変更するなか、大阪市長より当院の一般外来を再開する発言があり、7月27日に一般外来(産科を除く)を再開しました。

当院の基本方針に基づき、これまでと同様に地域の医療機関の皆様と連携をより一層深めてまいり所存であります。特にコロナ疑い症例の患者に対するPCR検査については、地域外来・検査センターをご活用いただければ幸いです。

地域医療連携室の新たなメンバーとともに、一丸となり皆様方のご意見やご要望を伺いながら益々努力してまいりますので、何卒宜しく願い申し上げます。



新任医師紹介

<消化器内科>

令和2年4月より当院消化器内科部長として赴任いたしました谷川徹也と申します。平成7年に大阪市立大学医学部を卒業し、同大学医学部消化器内科(旧第三内科)に入局しました。大学院時代には国立がんセンター研究所でリサーチレジデントとして胃癌に関する基礎研究を行い学位を取得いたしました。その後米国カリフォルニア大学アーバイン校で招聘研究員として研究活動を行いました。帰国後は母校に戻り令和2年3月末まで大阪市立大学医学部の教員として勤務いたしました。



消化器内科 谷川 徹也

専門領域は主に消化管疾患全般、特に上部消化管疾患・小腸疾患・消化管悪性腫瘍の診療です。消化器病専門医・指導医、消化器内視鏡専門医・指導医、消化管学会認定胃腸科専門医・指導医を取得しております。

私は生まれも育ちも阪急三国駅界隈という点で十三市民病院の診療圏には非常にご縁がございます。これまで大学病院で行ってまいりました最先端の医学・医療をバックボーンとして、地域医療のプライマリーから消化器領域の専門診療まで、丁寧に診療して地域医療のお役に立ちたいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

<放射線科>

令和2年4月に大阪市立十三市民病院放射線科部長として赴任しました甲田洋一と申します。

平成5年に滋賀医科大学を卒業し、大阪市立大学病院放射線科で2年間の研修を経て大阪市立大学大学院に進学し学位を取得しました。その間米国テキサス大学 MD Anderson Cancer Center にフェローとして1年間勤務していました。大学院卒業後は神戸市立中央市民病院に6年間、大阪市立総合医療センターに15年間勤務し現在に至ります。専門は画像診断一般ですが、肝胆膵領域、消化管、泌尿器科、婦人科の画像診断を得意としています。



放射線科 甲田 洋一

画像診断以外には長年にわたり IVR(インターベンショナルラジオロジー:画像下治療)を行っており、肝癌、腎腫瘍、子宮筋腫の治療など数多くの症例を経験してきました。その他、透析シャントのPTAも多数行ってきました。

地域の先生方からはCTやMRIの画像診断の御依頼をお受けすることが多いと思いますが正確で迅速な診断を心掛けていきますので今後ともよろしくお願いいたします。

<耳鼻咽喉科>

本年4月より、十三市民病院耳鼻咽喉科部長として赴任いたしました愛場庸雅(あいばつねまさ)と申します。昭和55年に大阪市立大学を卒業。耳鼻咽喉科に入局し、市大病院、南大阪病院にて臨床研修を積んだ後、大阪市立大学耳鼻咽喉科学教室で、主として嗅覚障害、味覚障害の研究を行って来ました。平成11年から大阪市立総合医療センターの耳鼻咽喉科・小児耳鼻咽喉科・小児言語科部長として約20年勤務し、本年3月に定年退職致しました。



耳鼻咽喉科 愛場 庸雅

耳鼻咽喉科の取り扱う範囲は多岐にわたっています。十三市民病院では、マンパワーと設備の点からすべてをカバーすることは困難ですが、過去の経験を生かして、地域における初期医療に貢献できればと思っております。また、私のライフワークともいえる嗅覚味覚障害の診療については、専門医療としてより広い範囲からの紹介を承るつもりです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

<呼吸器内科>

2020年4月より呼吸器内科副部長として赴任しました宇治正人と申します。1996年に大阪市立大学医学部卒業後は各病院で研修医・呼吸器内科医として勤務してきました。2017年同大学医学部運動生体医学教室配属後は同大学杉本キャンパスの学校医や産業医業務を担っておりました。この時期は臨床業務から少し離れていたこととなりますが当院配属後は精一杯、地域医療に貢献すべく尽力する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



呼吸器内科 宇治 正人

<消化器内科>

本年4月より大阪市立十三市民病院消化器内科医長として赴任致しました島田直(しまだすなお)と申します。平成16年に大阪市立大学を卒業し母校で初期研修を行った後、地元の徳島赤十字病院で消化器救急を中心に内科診療に携わりました。その後母校に大学院入学し、今回同じく赴任しました谷川先生に師事しました。大学院卒業後は藤井寺市民病院で勤務し、今回谷川先生とともに当院へ赴任致しました。専門は消化管疾患全般・内視鏡治療です。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、どこまで専門分野の力を発揮できるかわかりませんが、地域医療の第一線で御尽力されております諸先生方のお力になれますよう、精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



消化器内科 島田 直

<整形外科>

令和2年4月より大阪市立十三市民病院の整形外科医員として赴任致しました田中秀和と申します。平成23年に愛知医科大学を卒業し、初期研修を行い白庭病院などで人工関節を中心とした治療経験・手術経験を積み、前任はなにわ生野病院へ勤務しておりました。そこでも人工関節、特に変形性膝関節症を対しての全人工膝関節置換術(Total Knee Arthroplasty:TKA)を中心に経験を積んで参りました。痛みの少ない手術を目標に掲げ、患者さんに寄り添う医療を心掛け、地域の先生方と連携し膝人工関節診療を行い、皆様のご期待に沿えるよう努めて参りますので何卒宜しくお願い申し上げます。



整形外科 田中 秀和

<呼吸器内科>

令和2年4月より呼吸器内科レジデントとして赴任いたしました小林正典と申します。平成27年に大阪医科大学を卒業し、大野記念病院、大阪市立大学医学部附属病院で初期研修を行いました。大阪市立大学医学部呼吸器内科学教室に入局した後、和泉市立総合医療センター、大阪鉄道病院にて勤務しておりました。今年より十三市民病院に赴任となり新型コロナウイルス感染症で大変な状況ですが、お役に立てるよう一生懸命取り組んでいきたいと思っております。先生方のご指導、ご鞭撻のほど賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



呼吸器内科 小林 正典

<内科>

本年4月より内科専攻医として赴任しました山根和彦と申します。昨年度まで大阪市立総合医療センター内科専攻医として一般内科を診療してきました。専門は感染症で十三市民病院では主にウイルスや抗酸菌をはじめとした細菌感染症の外来、入院加療を携わらせて頂きます。新興感染症発生の際には、院内感染症対策などを通じ感染拡大防止に努め、また、近隣の感染症指定医療機関と連携し、常に最新の医療を提供し地域へ貢献したいと考えております。至らぬ点が多々あると思いますが日々精進いたしますので何卒よろしくお願い致します。



内科 山根 和彦

<看護部>

看護部は、「患者・地域のすべての人に選ばれる病院に」を目標に、キャッチフレーズは「みんなに届け！笑顔、やさしさ、思いやり」をキャッチフレーズとして頑張っています。

4月末からは、コロナ専門病院となりましたが、新型コロナの患者さんも普段から十三市民病院に来ていただいていた患者様と同様に、良い看護を提供していきたいと思っています。

前年度から、訪問看護師さんにカンファレンスに参加していただき、退院支援に積極的に取り組んできていました。今年度は新型コロナの影響でカンファレンスが中断してしまっています。しかし、新型コロナの患者様も支援の必要な患者が多くなってきています。今後は地域の方々や訪問看護師さんにもご協力をいただきながら、より良い支援につなげていきたいと思っていますので、ご協力をお願いいたします。

7月27日から一般外来の診療も始まりました。地域の開業医の皆様のご要望にお応えできるよう、医療の提供ができるよう、看護部も努力していきたいと思っています。そして、患者・家族はもちろんですが、ともに働く仲間にも笑顔、やさしさ、思いやりを届けることができるよう、看護師一同頑張ります。

一般外来診療再開のお知らせ

新涼の候、先生におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、大阪市立十三市民病院は、新型コロナウイルス感染症（軽症ならびに中等症）の入院患者を受け入れる重点医療機関としての役割を継続した中で、7月27日より一般外来診療を再開させていただくこととなりました。一定の制限を設けた再開であり、患者さまならびに医療機関の先生方には、多くのご不便・ご迷惑をお掛けしていること、心よりお詫び申し上げます。以前の状態に戻るまでには、もうしばらく時間を要すると思いますが、新型コロナウイルス感染症の今後の状況も見据えながら、少しずつ以前の状態に戻れるように努めてまいります。

ご不便をお掛けする状況は、まだ一定期間続くとは思いますが、ご理解頂けますようお願い申し上げます。



編集

大阪市立十三市民病院
地域医療連携室

〒532-0034
大阪市淀川区野中北 2-12-27
代表電話：06-6150-8000
直通電話：06-6150-8067（地域医療連携室）